

週報 みえぎよれん

★浜に身近な話題をお届けする関係者向けミニ情報誌★

編集・発行

JF 三重漁連指導部

TEL:059-228-1205

FAX:059-225-4511

本紙は三重漁連ホームページ (<http://www.miegyoren.or.jp/>) での閲覧を推奨します (PDF ファイル)。

漁師自慢の魚プロジェクトをスタートへ - 全 漁 連 -

水産物の消費量はこの 10 年間で 30% 以上減少し、魚介類の摂取量も肉類に逆転され、若年層を中心に魚離れが進んでいる。

そのため全漁連では、水産物の価値を再認識してもらい、消費を喚起していくために、地域ごとで水揚げされるこだわりの魚を広く知ってもらい、食べてもらう消費拡大活動に、組織を挙げて取り組む方針を固めた。

この活動のキーポイントは、魚に対する興味を購買に誘導すること。そこで各都道府県の JF グループが自信をもって勧める漁師自慢の魚「プライドフィッシュ」を季節ごとに選定（春夏秋冬の旬の水産物 4 種類等）し、集中的に情報発信する取り組みを全国的に展開する。

今後は、漁師自慢の魚の情報発信を実際の消費に結び付け、普及推進を図るために、生産から流通・消費に至る各種組織と連携したサポート協議会を設置することとしているが、後日詳細が発表され次第、漁連指導部より周知する予定となっている。

尾鷲市漁業体験教室

-参加者募集-

漁業者の減少と高齢化が進行している中、将来の漁業を担う人材の確保が各浜の大きな課題となっているが、尾鷲市では毎年開催している『漁業体験教室』を通じて、漁業に興味を持った若者の地元への着業に結び付けている。

今年度は 2 月下旬から 3 月中旬の間、4 日間通しの体験教室を 3 回開催する。体験内容としては、大型定置網漁業での網起こし、水揚げ作業などで、漁業に興味があり、就業意欲のあるおおむね 40 歳以下の者を対象としている。

この取り組みによって、県内外の若者が地元大型定置網漁業に就業しており、着実に成果を出している。

市の担当者も、『この体験教室をきっかけに「漁師の道」を探ってもらい、ゆくゆくは尾鷲市の漁業に就き、少しでも地域の活性化に結び付けたい』としている。



記

「浜の応援団」プロジェクト立ち上げ
- 水産庁 -

水産庁では、このほど様々な方面の技術や人材、ノウハウなど広く知恵を借りることで、浜が抱える多くの課題を解決する環境を構築させ、浜主体の活力創造を後押しする目的で、『浜の応援団』プロジェクトを立ち上げる。

水産庁は現場と応援団の橋渡し役を担うとしているが、様々な浜の積極的な活動に対する応援団として位置づけられる予定。

「浜の応援団」の募集や今後の取り組み等については、近日中に水産庁ホームページ（プロジェクト！「浜の応援団」）に掲載される。

(1/27 水産経済新聞)

伊勢マグロを解体実演販売
- 2/2 (日) 鳥羽『魚々味』 -

JF 鳥羽磯部漁協が運営する海鮮食堂「魚々味」では、日頃のお客様の感謝の気持ちを込めて、伊勢マグロの解体実演販売を開催する。

当日はベテラン調理人が 30～35 kg の伊勢マグロ 2 本をさばき、柵にして原価で販売。店内では伊勢マグロのほか伊勢マダイの握り寿司も用意することになっている。担当者は「ぜひこの機会にご来店して味わってほしい」と話している。

日 時：2 月 2 日（日）10 時～売切れ次第終了

場 所：鳥羽市堅神町 833 潮騒の駅内
魚々味駐車場特設会場

詳しくは Tel 0599-25-2328（鳥羽磯部漁協）又はホームページをご覧ください。

(<http://www.totomi.jp>)



【主な予定】
○31 日 青さのり第 2 回共販（松阪）

本文の無断転載・転用等は固くお断りします。